

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	伴奏法	担当者名	笹森 誠
授業の概要	読譜の基本、運指の基本、伴奏(コード奏法)の基本、以上3つの基本を課題を通して理解した後、応用課題に対してどのように解決していけばよいのかを体験的に学ぶ。				
科目の到達目標	3つの基本を確実に実演できること、そして、応用課題に対しても自力で目標を達成できること。				
DPの観点	①聴く力(30) ⑧実践力(40) ⑩問題解決力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	各自に与えられた課題における目標達成のため、毎日30分程度の自主練習を必要とする。				
フィードバックの方法	各授業終了時、目標達成度の記録を兼ねた自己評価に対しコメントを返す。(ICTの活用)				
単位認定の要件	与えられた課題を滑らかに演奏できること。				
評価の方法・割合(%)	演奏発表(中間)30%、演奏発表(期末)30%、授業内での取り組み状況40%、[主に成長度を評価する]				
履修上の注意事項	音楽療法関連科目履修証明書の希望者は履修すること				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ガイダンス、読譜の基本:3つの音名、長調と短調		観察及びロイロノート□
2			読譜の基本:コードの仕組み、3つの機能(3コード)		観察及びロイロノート□
3			運指の基本:指番号とポジション(移動なし)		観察及びロイロノート□
4			運指の基本:指潜りと指跨ぎ、ポジション(移動あり)		観察及びロイロノート□
5			片手伴奏の基本:3つの型、合図		観察及びロイロノート□
6			基本作品の演奏発表(中間)		観察及びロイロノート□
7			応用編:歌い手に合わせる(移調と転調)		観察及びロイロノート□
8			応用編:コードのアレンジ(サブコードとセカンダリードミナント)		観察及びロイロノート□
9			応用編:伴奏のアレンジ(様々な伴奏型、リズムパターン)		観察及びロイロノート□
10			応用編:両手伴奏、バックিং		観察及びロイロノート□
11			応用編:前奏や後奏の創作(モチーフの変奏)		観察及びロイロノート□
12			期末の演奏発表に向けた取り組み:基本の確認		観察及びロイロノート□
13			期末の演奏発表に向けた取り組み:応用編の活用		観察及びロイロノート□
14			期末の演奏発表に向けた取り組み:総合的な調整		観察及びロイロノート□
15			応用作品の演奏発表(期末)、まとめ		観察及びロイロノート□
期末試験					

使用テキスト	『音の出会い』 石川県音楽療法研究会・音楽チーム編著(ドレミ楽譜出版社)
参考文献 参考URL	『平田紀子のちょっと嬉しい伴奏が弾きたい』(音楽之友社) 『ピアノでコード初心者弾き語り入門』で検索(youtube)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--